

科目名	不動産登記法	科目分類	■専門科目群 □総合科目群		
			法律学科	□必修 ■選択	
			学科	□必修 □選択	
英文表記	Real property resistration act	開講年次	□1年 ■2年 □3年 □4年		
		開講期間	□前期 □後期 ■通年 □集中		
ふりがな	ふじわら しんえつ	実務家教員担当科目	○	修得単位	4
担当者名	藤原 信悦	実施方法	■対面のみ □遠隔のみ □対面・遠隔併用		
授業のテーマ	不動産登記の全体的なイメージを幅広く身につけるための能力と知識を習得する。				
到達目標	不動産登記法の仕組み・構造を理解する。 不動産登記の果たす役割・機能を理解する。				
授業概要	毎回レジメを配布して講義する。				
授業計画					
第1回	不動産登記には2種類ある？	第17回	中間省略登記		
第2回	不動産の種類（土地と建物その他）	第18回	登記原因証明情報		
第3回	表示に関する登記	第19回	登記識別情報・登記済証		
第4回	14条地図	第20回	添付書面の重要性		
第5回	地積測量図	第21回	本人確認		
第6回	世界測地系やGNSSによる測量	第22回	土地の一部取得と登記方法		
第7回	筆界特定と筆界確定請求訴訟	第23回	相続と登記		
第8回	区分所有建物の特殊性	第24回	遺産分割と登記		
第9回	登記簿 登記所 登記官	第25回	農地の登記		
第10回	登記簿の公開	第26回	民法94条2項類推と登記		
第11回	登記申請の方法と申請のデジタル化	第27回	仮登記と本登記		
第12回	登記申請に対する登記所の審査	第28回	登記の効力①（公示力、対抗力など）		
第13回	申請の却下事由	第29回	登記の効力②（公信力）		
第14回	登録免許税	第30回	不動産登記法の改正動向		
第15回	前期のまとめ	第31回	後期のまとめ		
第16回	前期定期試験	第32回	後期定期試験		
授業時間外の学習	不動産登記法は民法等の実体法の理解が必須。とくに物権法を勉強すること。				
履修条件 受講のルール	とくにないが、物権法（物権変動）の最低限の知識は前提となる。				
テキスト	なし				
参考文献・資料	なし				
成績評価の方法	前後期の成績を合算し表基準にしたがって評価する。 ※出席回数が規定に満たなかった場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は試験を受けることができません。				
オフィスアワー	適宜実施				

成績評価の基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	不動産登記申請や登記所における登記業務の日常及びその裏側と不動産取引の現実(かなりスリリングな場面が多い。)を生(リアル)で伝えることに努める。
学生へのメッセージ	①授業中の私語の禁止 ②授業中の教室内の飲食の禁止 ※毎年、遵守できない学生が数名程度存在するが、他の学生の迷惑となるので厳守すること。